

「第7回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会」議事概要

日時：平成23年8月25日（木）13：30～16：00

場所：社団法人 高知県山林協会1F 会議室

出席者：小林委員長、奥田副委員長、加藤委員、仲尾委員、西村委員

小松環境共生課長、内村環境共生課課長補佐（バリデーター兼）、荒尾チーフ、平石主幹、前田技師

バリデーションチーム門田リーダー、柿部メンバー、小笠原メンバー

議事

- 1 経過報告
- 2 報告事項
 - （1）プロジェクト永続性の確認
 - （2）プロジェクト対象地における台風被害調査について
- 3 申請プロジェクトに対する有効化審査結果に基づくプロジェクト登録について（審査事項）
- 4 その他

議事概要

- 1 経過報告
 - （1）第6回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会の議事概要
 - ・5月30日（月）13:30～17:00に（社）高知県山林協会1F会議室で開催。
 - ・主な議事として、経過報告及び認証審査（高知県梶原町、高知県大豊町）、登録審査（高知県土佐町）が行われた。
 - ・「高知県梶原町雲の上の間伐推進プロジェクト」のモニタリング報告書及び検証報告書に基づき、審査を行い273t-CO2の吸収量が認証された。
 - ・「高知県大豊町ゆとりすとの森間伐推進プロジェクト」のモニタリング報告書及び検証報告書に基づき、審査を行い545t-CO2の吸収量が認証された。
 - ・「高知県土佐町「朝日・輝く森」間伐推進プロジェクト」のプロジェクト計画書、モニタリング計画書、バリデーション報告書に基づき、審査を行い登録が承認された。
 - （2）申請プロジェクト関係についての経過
 - ・平成23年5月30日に第6回高知県オフセット・クレジット認証運営委員会が開催。
 - ・6月30日に第7回募集の締め切りを設定。
 - ・大正町森林組合から申請書が提出され、7月29日、8月9日にバリデーション実施。（7月22日に現地確認。）
 - （3）県J-VER制度普及促進研修会等の実施
 - ・7月7日に高知県J-VER制度プロジェクト申請書作成講習会を高知県山林協会1F

会議室（高知市）で開催。参加者は 26 名。

- ・ 7 月 8 日に高知県 J-VER 制度モニタリング方法現地研修会及び算定講習会を甫喜ヶ峰森林公園内（香美市）で開催。参加者は 28 名。

2 報告事項

（ 1 ）プロジェクト持続性の確認

プロジェクト代表事業者等の責務として、プロジェクト登録済みの 7 事業者から 6 月 30 日までに持続性確認文書（森林施業計画、伐採届等）が提出されており、書類について確認した結果不備がなかった旨報告された。

（ 2 ）プロジェクト対象地における台風被害調査について

台風 6 号による被害調査を依頼した結果、7 事業者から報告があり、そのうち中土佐町から 10m×30m 程度の風倒木被害の報告があった。

今後の確認事項として、CO2 吸収効果消失量を個別に確認された場合のバッファ利用時期、及び個別に確認出来なかった場合の森林・林業白書の統計値利用方法について国の J-VER の動向を確認しながら、次回委員会で一定の方向性を提案したい旨が提示され、了承された。

3 申請プロジェクトに対する有効化審査結果に基づくプロジェクト登録について（審査事項）

（ 1 ）「大正町森林組合温室効果ガス吸収間伐推進プロジェクト」～山、川、海、自然が人が元気です～登録審査

ア プロジェクト代表事業者紹介

大正町森林組合小野川部長代理から、四万十町及び大正町森林組合の概要、取り組みとして、効率的な作業システム、集成工場、北ノ川山元貯木場等が紹介された。

イ 「大正町森林組合温室効果ガス吸収間伐推進プロジェクト」の申請書の概要説明。

ウ バリデーション報告書の概要説明。

エ 登録が承認された。

4 その他

- ・ 第 8 回委員会については 12 月下旬に開催予定。
- ・ 新たに高知市、いの町が申請予定。
- ・ バッファの取り扱いについて検討事項として提示予定。